

わかくさ

5月13日に第1回川村会議が開催されました。そこで運営委員会から今年の児童会目標が発表されました。「一人ひとりのひとみ輝く最高の学校」です。一人ひとりの個性を大切にして、みんなが楽しくいられる川村小にしたいという願いが込められています。みんなで協力して、こんな学校を創っていきましょう。

学校生活に慣れ、元気に過ごしています

入学してから1か月が過ぎました。新しい生活にも慣れ、学校たんけんや、教科書を使った

授業も始まり、はりきって学習する姿がみられます。まだひらがなの学習中ではありますが、書く活動もだんだん多くなってきました。できることが増えていく喜びを感じてくれたら嬉しいです。入学前から交流のあった6年生が、朝の時間や、給食の時間に手伝いに入っています。自分でできることは自分でやらせつつ上手にサポートしている姿に、上級生としての成長を感じます。休み時間になると黄色帽子をかぶった1年生は元気に外へ飛び出していきます。



6年から5年へ 委員会説明会



4月12日(金)朝の時間を使って、6年生が5年生の教室へ行き、委員会の活動について説明しました。

わかりやすくするため劇仕立てにしたり、写真、具
体物を用意したりするなど各委員会が工夫をこらして発表していました。5年生も質問をしながら真剣に聞いていました。

全国学力・学習状況調査

4月18日(木)に全国学力・学習状況調査を実施しました。全国の小6、中3を対象とした調査です。

普段と異なる形式、環境に緊張気味でしたが、集中して問題に向き合っていました。結果は後日個別に返却されます。自分の間違いを確認し、結果をいかしていきましょう。

授業参観・懇談会 PTA 総会

4月19日(金)に第1回の授業参観を行いました。参観者の方々の車でグラウンドがいっぱいになりました。1年生は教室前で、「ママ来るかな?」とそわそわしていました。皆よいところを見せようと、張り切っていました。その後の総会にも多くの方がご参加いただき、盛大に開催することができました。保護者の皆様のご理解ご協力に支えられているということ、改めて実感しました。総会后に懇談会を行いました。今後も、顔を合わせて話ができる場を大切にしていきたいと考えています。

読書活動の推進



この度神奈川第5次子ども読書活動推進計画が策定されました。山北町でも独自に策定している読書活動推進計画に基づき、さまざまな取り組みを行っています。その中のサードブックとファミリー読書週間の取り組みについて紹介します。

サードブック贈呈式 4月25日(木)

山北町ではファーストブック、セカンドブックに続き、小学校入学時に児童に本をプレゼントするサードブック事業を行っています。そこで、本校では絵本の読み聞かせを行った後、校長から、一言添えて一人ひとりに本を手渡しています。



本の世界に引きこまれ、
身を乗り出して
聞いています

ファミリー読書週間

4/23~5/12

町が設定した期間に合わせ、学校図書館でも、読書推進の取り組みを行っています。



「家読カード」で読んだ本の感想を募集したり、図書委員のおすすめの本を紹介したり、貸出冊数を増やしたりしました。多くの子が図書室を訪れ、本に親しむ様子が見られました。読書の楽しさを感じてくれたらうれしいです。

おすすめの本



小・中学校の教科書展示会のお知らせ

神奈川県教育委員会では、次のとおり、小・中学校の教科書を一般に公開しています。

◆日時

令和6年6月14日(金)~令和6年7月3日(水)

◆会場

足柄上合同庁舎 本館5階 東側大会議室B

◆展示物

小学校用教科書 中学校用教科書

特別支援学校用及び小中学校特別支援学級用教科書

今後の予定



【5月】

17日(金) マイ弁当の日

幼・保・こ 合同引き取り訓練

22日(水) 5年田植え

24日(金) 4年町図書館見学

25日(土) PTA 環境美化作業

【6月】

3日(月) 4年西部環境センター見学

6日(木) 授業参観(2・3校時)

7日(金) プール清掃(6年)

校長室の窓から

毎朝学校坂道のところに立っていると、色々な子どもたちの様子がわかります。お母さんと離れられず、泣いている1年生。今日の図工が不安な子。新しい委員会活動に燃えている子。仲のよい子とクラスが分かれさびしげな子。新しいキーホルダーをつけてうれしそうな子。挨拶をする短い時間に一言二言言葉をかわすだけでも、その子どもたちのちょっとした変化を感じることができます。また、昨日の下校中に通学路以外のところを通っていた子がいたことを教えてくれたり、今登校中に泣いて動けなくなっている1年生がいることを走って伝えに来てくれたり、通学路にハチがいて危険な場所があることを伝えてくれたりと、川村小学校の子どもたちは、大切な情報を素早く確実に伝えてくれるので、私たち職員もすぐに対応することができるのです。「自分で考え、良いと思うことを、率先して行う」川村小学校の子どもたちを見ていて、すばらしいなと感じるところです。